

(報告第 8 号について事務局より説明)

(質疑等の要旨)

委員：資料 8-27 ページに関連する道路の整備について、鉄道の高架化は阪神沿線で行っているが、阪急沿線や JR 沿線では鉄道と道路の交差部が多く、交通面、安全面に課題があるが、整備に向けては都市マスの中でどう記載されているのか。

事務局：都市計画道路の中では優先順位をつけながら整備しており、都市マス図面集の中では、15 ページにある地域別方針図（阪急沿線地域）で尼崎宝塚線と阪急線との交差部について早期整備を進めるとあるが、それ以外の都市計画道路と鉄道の交差部については個別の記載はない。

委員：記載がないところは次期都市マスの改定時に記載して整備を目指していくのか。

事務局：今後整備を進める都市計画道路については、道路整備プログラムの 5 年毎の見直しの中で、財政的な面も踏まえて優先順位をつけて対応していく。

事務局：鉄道と道路の交差部について、理想は立体交差化であるが、大庄友行線の鉄道交差部は未整備で阪急線の踏切もなくミッシングリンクになっているため、都市マス図面集 14 ページの地域別現況課題図（阪急沿線地域）に示しておく（未整備であることは図示していたが他の図形に隠れて見えず）。当課題の対応方針については、道路整備プログラムにおいて現在事業中の尼崎宝塚線、園田西武庫線の目途が立ち次第、道路整備プログラムを改定し、都市マス図面集 15 ページの地域別方針図（阪急沿線地域）にも加えていく必要があると考える。

委員：阪急の武庫川新駅の設置について、陳情の署名が集まっているが、都市マスの中では触れられていないことに関してどう考えているのか。

事務局：武庫川新駅については現時点で確定した計画がないため都市マスには記載していないが、現在、調査・研究中であると関係部局からは情報を得ている。

事務局：武庫川新駅の取組状況については、兵庫県・西宮市・阪急電鉄との検討の中で、事業費の想定や負担割合も含めたケーススタディを行うなどその熟度を高めていく段階であり、地元住民の要望を放置しているわけではない。

委員：資料 8-9 ページにあるまちづくり講座とはどんな内容か。

事務局：一般市民向けまちづくり講座としては、毎年テーマを変えて学識経験者に講演いただいております。昨年は地区まちづくりをテーマに講座を行っている。また、親子向けまちづくり講座については、尼崎市サマーセミナーの中で用途地域や高さ制限等まちにルールがあることを学んでもらい、学んだルールと発砲スチロールの積み木を使って自分たちでまちを作ってもらおうといった取組を行っている。一方で小学校出前講座については、各小学校へ出向き一つの授業の中で、みんなが困らない良いまちがどうやって作られているのか、自校区内の道路・公園・用途地域等の要素を取り入れて学んでもらっている。

委員：武庫川新駅について、西宮市側は過去から要望は強かったが、尼崎市側にはなぜかあまり届かなかった。その理由は、武庫川新駅の西宮市側は住宅が多いが、尼崎市側は農地が多いことから新駅によって便利になる反面、地元は農地が減ることを懸念しブレーキがかかった可能性がある。市として推進していく場合は、住民の意見等を十分に精査したうえで計画に入れてほしい。また、

大庄友行線については、大型の緊急車両は尼崎宝塚線と道意線しか南北に通行できないことから、武庫之荘地域は火災が発生した際にアプローチしにくいいため、防災の観点からも要望が強く推進してもらいたい。

事務局：武庫川新駅については、古くは平成12、13年頃に阪急電鉄より話があり、西宮市では瓦木村との合併条件に新駅を設置することとなっており、西宮市の基本構想に記載されているということもあって、地元から積極的な働きかけがあった。なぜ本市側では盛り上がらなかったのかについては、地元で期成同盟会のようなものを立ち上げられてもいたが、当時本市では財政再建の最中であり、推進できる状況ではなかったのも事実である。それから年月が経過し、検討会にも参画しているが、西宮市においても区画整理事業から街路事業に切り替えるなど計画通り進んでいない状況にある。本市では武庫川新駅設置に関し、すでに区画整理が終わっている地域に再投資するのかという反対意見がある一方、交通の観点から駅をつくれればまちが変わるといった地域交通審議会からの意見答申もあり、検討を進めている段階である。現状、事業としてどう推進していくかまでは踏み込めていないが、着手するとなれば一般的な手続と同様、住民の皆様には当然意見を伺いながら進めていく。また、大庄武庫線については本市も課題として捉えているが、平面交差は国の方針によりできないとなっており、現実的に早期に着手はできないが、安全対策の実施を阪急電鉄に要望し、真摯に対応していくという回答を得ている。市としては事業費を抑えて実現できればと考えており、今後も安全面を含め協議を重ねていく。

会長：以上で本日の案件はすべて終わりました。これをもちまして第6回尼崎市都市計画審議会を閉会いたします。